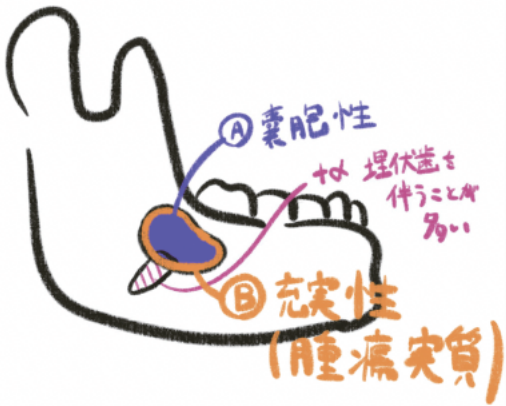


1: 典型症例(充実型/多嚢胞型)

治療法 ○ 根治療法 ○ 顎骨切除

充実性部分と複数の嚢胞性部分からなる  
 腫瘍実質がでかい(図のオレンジ)  
 被膜があやふやで浸潤性が高い  
 →だからがっつり下顎骨を切除しないとだめ



2: 単嚢胞型

治療法 ○ 保存療法 ○ 摘出

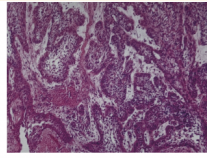
埋伏歯が存在することが多い  
 腫瘍実質が病変のまわり(図のオレンジ)  
 浸潤性が低そう(けどそれは病理図次第などところある→あとで解説)  
 →だから開窓して周りの骨を削ってもOK

【迷問】 国試の流れを変えてしまった問題児(106)

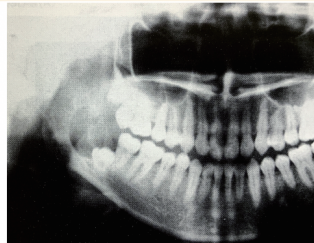


右下に潰瘍+問題文に「リンパ節の触知」

あ、ガンやん



けど病理図はがっつりエナ上(あとで解説)



典型症例??  
 or  
 単嚢胞型??

正解は  
 下顎辺縁切除術→典型症例  
 その後、  
 摘出挿入術も正解になった→単嚢胞型  
 (1つ選べなのに)  
 →この問題以降、107回はエナ上出題なし  
 106回から典型型or単嚢胞型が問われるようになる